

1. 昔々イスラエルの国に、病気をわずらっている女の人がおりました。

2. 女性「すいませーん、ちょっと具合が悪いので、お薬もらえますか〜？」
薬屋「はいよお〜、10ドルね。」

・・・ところがその薬では治りません。そして次の日。

3. 女性「すいません、あの薬じゃ効かないみたい。他の薬をください」
薬屋「おかしいなあ、効かなかった？ それじゃ今度のは大丈夫、ちょっと高いけどね。100ドルだよ。」

・・・ところがところが、それでも治らないのです。そしてまた次の日。

4. 女性「あのお・・・ぜんぜん効いていないような気がするんですが・・・」
薬屋「ちょっとあんた、何かい？ 言いがかりをつける気かい!? 効かないのはこっちのせいじゃなくてあんたのせいだろっ！ ほら、今度は1,000ドルの薬だぞ、さあ、早く金をよこせっ！！」

・・・ところがところが、それでも病が治ることはありませんでした。

5. 今度はこの女の人、お医者さんに見てもらうことにしたのです。

女性「どんなに高い薬を飲んででも効きません。どうか治してください！」

医者「はいはい、どんな病気でも治せますよ。でも診察にはお金がかかるよ、一回2,000ドルね。」…そして次の日。

6. 女性「あのお・・・先日見てもらったのですが、ぜんぜん治りません・・・」

医者「何だ、まるで私が悪いみたいじゃないか？ ああ？ 変な言いがかりをつける気かい!? 私が悪いんじゃないくて、あんたのせいだろっ！ 何だ、そんな三角を頭に付けてきて。まだ足が付いてるんだからいいじゃないか。今日の診察は一万ドルだっ、さあ早く払えっ！！」

7. 医者「むははははあ〜、薬屋、お前もワルよのお。あの女からたんまりと金を奪い取りおって。お前が渡していたのはただの風邪薬じゃろ？ それを1,000ドルとはのお、おぬしも相当のワルよのお」

薬屋「ほっほっほっほっ、何をおっしゃいますお医者様。お医者様こそ、あの女の病気が治らないことを知っておられながら診察して、一万ドルも請求するとは。お医者様こそ、ワルの中のワルですのお。」

医者「むははははあ〜、お互いにわしらはワルよのお」

薬屋「そういうことですな、ほっほっほっほっ〜。」

8. 病気は治らず、医者や周りの人たちからはだまされてお金を取られ、すっかり弱ってしまい、とうとう12年も経ってしまいました。

女性「私はもうどんな医者でも治すことができない病なんだわ。でも神の一人子イエス様なら、イエス様なら治してくださるはず。そうだ、イエス様のところへ何とかして行きましょう・・・」

9. そのころイエス様は、大勢の人に囲まれて歩いておられました。

女性「ああ、何てたくさんの人たちなのでしょう。これではイエス様とお話することなんて出来ないわ。でもとにかく近くまで行って、せめてイエス様の服に触ることさえ出来れば、きっと私は元気になることが出来るわ。何とか近くまで、何とか近くまで・・・」

10. こうしてこの女性は何とかしてイエス様のそばまでたどり着き、服に触ることが出来たのです！

11. イエス様「今、私の服に触ったのは誰だい？」

弟子A「イエス様あ〜、周りにはこんなにたくさんの方がいるのですよ。」

弟子B「そうですよ、誰が触ったかって、みんなあなたに触ってますよ。」

イエス様「そういうことではないんだよ。私から力が出て行ったのだ。」

12. 女性「イエス様、おゆるしてください。触ったのは私なのです…。私は12年も病気で悩んできました。でも、せめてイエス様の服にでも触ることが出来たらと思い、やってきたのです・・・」

イエス様「あなたの信仰があなたを救ったのです。安心して行きなさい。さあ、あなたの顔を鏡で見てみなさい。まだやせてはいるけど、顔色はすっかり良くなっているのですよ！」

13. 「この方の服に触れさえすれば治してもらえる」マタイ9:21

女の方はイエス様を信じて、立ち上がっていくことが出来ました。

イエス様を信じるなら、あなたにも新しい力が与えられるのですよ。

おしまい。